

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2024年1月31日

事業所名:おーじやん 児童発達

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	デイルームと個別ブースを区切りスペースを確保しています。	はい:10 どちらともいえない:3 いいえ:0 わからない:1 ご意見 ・見学に行ったときに狭いと感じた。 ・シンプルな空間を区切ったりしてうまくやられていると思う ・個別の場所は子どもが集中して取り組めるように区切られている。	施設見学時に所内を案内することでスペースやレイアウトに対する理解を頂きます。
	2 職員の適切な配置	保育士、児童指導員を配置し5人前後の子どもにつき3~4人の職員配置をしています。	はい:11 どちらともいえない:0 いいえ:2 わからない:2 ご意見 ・ちょうどよい人数だと思います。 ・物の名前や言葉のやりとりをいつも手丁寧伝えてくださって子どもの立場に立って考えて下さっている。 ・努力はひしひしと感じる。私も成長していきたい。	引き続き、療育に必要な人員を配置し、保護者に説明することで理解を求めて行きます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	遊びの内容によって区切りをつけたりするなど環境調整をしています。	はい:13 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:2 ご意見 ・子どもがすぐ見てわかりやすいように環境が整備されているのですぐに行動にうつせる。 ・バリアフリーなどはよくわかりませんが子ども達がわかりやすくなっているのではないかと思います。	必要に応じて、視覚的に分かりやすいような設えや表示を活用していきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	営業時間後に清掃、消毒作業を毎日行っています。	はい:15 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0 ご意見 ・個別の空間はとても心地よく集中できる環境になっている。 ・とてもきれいにされていると思います。	今後も清潔で心地よい環境構築を実施していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	定期的に職員間でのアセスメント会議を行い業務の改善や支援方法の検討を行っています。		今後も定期的なアセスメント会議を行い児童の情報共有や支援方法の統一を図っていききたいと思います。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	行っていない。		県以外の第三者機関を活用して外部評価の受け入れの検討を行います。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	実施しています。本年度は地域の方々の参加も交えた研修や社内で虐待研修も行いました。		発達障害の基礎研修やペアレントトレーニングの研修を受け、職員のスキルアップや療育等に繋げて行きます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	定期的なアセスメントミーティングと保護者へのヒアリングを実施しそれをもとに計画を作成しています。	はい:11 どちらともいえない:3 いいえ:0 わからない:1 ご意見	今後も継続して全職員で会議を実施し保護者のニーズや課題の分析に努めます。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	定期的なアセスメントミーティングで検討しながら児童の特性や課題に応じた計画を作成しています。	はい:11 どちらともいえない:3 いいえ:0 わからない:1 ご意見 ・自分自身がもう少し目標を考えられたらよかったかもしれない。 ・子どもの今できる力や今から育てていく力をバランスよく計画して下さっているのでも「できる力」「自信がついていく」楽しく勉強になっている。 ・常に気遣ってくれて頼りになるなと感じています。 ・通い始めたばかりなので正直まだわかっていません。	
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	短期目標と長期目標を設定して支援内容を記載しています。	はい:15 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0 ご意見 ・次の発達につながるような計画、自信がつくような計画をして下さっています。	
適切な支援の提供 （続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に沿った支援が実施されているかをミーティングにて確認しています。	はい:15 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0 ご意見 ・次の発達につながるような計画、自信がつくような計画をして下さっています。	今後も引き続き、見やすく分かり易い個別支援計画を心がけ、作成していきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員会議で活動プログラムの立案を行っている。支援方針や方法の立案などは全職員で意見交換を行っている。	今後も継続し会議において職員全体で活動プログラムの立案を行っていきます。	
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	児童発達支援のため長期休暇はないが児童に合わせて外出などを組み入れています。	はい:12 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:1 回答なし:1	引き続き提供時間の長さや休日(土)で活動の内容を検討・修正を行いながらきめ細やかな支援の提供に努めます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節にあわせた内容やPDCAサイクルを用いて固定化しない工夫をしています。		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	始業前ミーティングを行い来所児童の注意点などを職員で確認しています。		始業前の確認の時間を設けその日の利用児童や注意点等確認を行い役割分担について確認を行うようにしています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
)	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	終礼ミーティングの時間を設けその日の支援のフィードバックを行っています。	全職員での共有が必要な場合は週に1回ある会議時に議題として取り上げ共有化を図る。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	連絡帳への記入やデイリーを利用しながらその日の様子や気になったことを記録しています。	現在の記録用紙に特記事項の記録を継続して行う。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	個別支援計画を半年更新とし更新月の前月にはミーティングで職員間でのモニタリングを行っている。保護者とヒアリングも実施し支援計画の作成を行っている。	現在の児童発達支援計画の作成の手順で不都合等見られない為この流れでの児童発達支援計画の作成を継続して行う。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	児童発達管理責任者1名が各会議には参加している。参加できない場合には代理の職員が参加している。	継続して左記の内容での実施に努めていく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療機関との連携は行っていないが、こども園と保護者との連携をより密に行いながら情報共有に努めている。	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	かかりつけ医の確認を契約時に行っている。医療行為が必要な児童に関しては受け入れ体制が整っていない為受け入れは行っていない。	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保育所やこども園とは送迎時に情報の共有をしたり、園の先生方に来所していただき児童の様子を見学して頂いたりしています。また、こども園の方へ見学に行かせていただいていることもあります。	各機関との連携(会議)が必要な場合は連絡や相談を行い会議や連携に向けて調整を行うようにする。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	進路相談や療育内容の相談、就学後の支援内容などについて、必要に応じて随時行っています。	今後も、保護者の希望に応じて進学に向けての相談を随時実施していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	記載施設での研修があり参加可能な研修がある場合には職員への参加を促しています。別途、事業所内で職員研修や一般市民を交えた研修を行っています。		研修の受講機会があれば職員にも参加を促めています。各機関との連携(会議)が必要な場合は連絡や相談を行い会議や連携に向けて調整を行うようにしています。
	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	児童館や図書館へ遊びに行く機会を設けています。活動の中で他の児童の中に混ざり一緒に遊ぶこともあります。	はい:7 どちらともいえない:0 いいえ:4 わからない:4 ご意見 ・保育園で同じ年齢の子どもとの関わりの時間も大切にしてくださっています。	保育所や認定こども園、幼稚園等の園の開放日に出向くことを検討します。
	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域住民との交流や施設行事は現在実施を行っていません。市民向けの障害者イベント(市の障害者週間)へのブース提供やイベントへの参加は行い事業所の所在や取り組みの発信を行っています。		障害者週間への参加は継続して行いながら、地域住民・施設行事を通じての交流についても実施に向けての検討を行っていきます。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用者負担や支援内容については都度質問に答え、丁寧な回答を心掛けています。	はい:13 どちらともいえない:2 いいえ:0 わからない:0 ご意見 ・始まる前にしていただきました。 ・いつも丁寧な説明をしてくださっています。	引き続き、不明点の問い合わせがあれば不明点の解消に向けての説明を真摯に行います。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	利用者負担や支援内容が不明な点や疑問点がある場合には説明の時間を設け、丁寧な回答を心掛けています。	はい:12 どちらともいえない:2 いいえ:0 わからない:1	引き続き署名・捺印を頂く際に、児童発達支援計画を持参し記載内容に基づき説明を行っていきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	事業所内の実践で効果的な支援方法について申し送り時に保護者に実践方法の説明を行っています。	はい:6 どちらともいえない:3 いいえ:1 わからない:5 ご意見 ・こういう計画で取り組んでみたらどうだったか次はどうしようと思っているのかを丁寧に説明してくださっています。	引き続き継続し事業所内で実践で効果的な支援方法については申し送り時に保護者に実践方法の説明を行います。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	申し送り時に保護者にお一じやんでの支援計画に基づく支援内容の報告を行い、現在の児童の様子とすり合わせを行いながら支援内容の共通理解に向けて取り組んでいます。	はい:15 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:0	今後も引き続き、申し送り時に相談連絡を図りながら児童の支援計画の共通理解に向けて保護者とコミュニケーションを取っていきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	申し送り時に必要に応じて子育ての悩みや相談事の確認を行い、対応の助言等を行っています。	はい:14 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:0	申し送り時や面談日を持つ等して今後も適切な相談対応や助言を行っていきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母の会への参加・支援は出来ていません。定期的に保護者会や児童・保護者対象のイベントを企画し保護者間の連携や関係づくりの場として実施しています。	はい:2 どちらともいえない:0 いいえ:6 わからない:6 回答なし:0	父母会への参加機会や必要に応じて参加するようにしていきます。保護者会や懇親会の企画や実施は今後も継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情や要望の依頼があった場合は早急に保護者や関係機関と連絡をとり苦情・要望への対応を行っています。	はい:6 どちらともいえない:0 いいえ:2 わからない:7	今後も継続し迅速な保護者対応を心掛け対応を行っていきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	絵カードや構造化、声掛けの工夫等配慮しながら児童と意思疎通や情報伝達を行っています。	はい:13 どちらともいえない:2 いいえ:0 わからない:0	現在の手段に限定せずより良いコミュニケーション方法の手段の発見や工夫を行いながら児童・保護者との意思疎通に努めています。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	フェイスブックを利用して平日頃の活動内容の報告は行っています。 今後定期的な会報での報告を行う予定です。	はい:2 どちらともいえない:4 いいえ:1 わからない:8	今後も継続しフェイスブックを活用し情報の発信や児童の様子・施設での様子の発信を行っていきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	児童の個人情報の取り扱いについて一覧を作成している。個人情報書類は鍵付き書庫に保管している。職員にも個人情報の取り扱いには細心の注意を払うように周知を行っています。	はい:14 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:1	一覧表は今後もその内容が変わる都度修正を行い一覧にする。個人情報の取り扱いには細心の注意を払うよう職員間でも周知徹底をおこないます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを作成している。保護者への周知徹底は出来ておらず警報発令時の対応については書面にてお知らせし確認を行っています。適宜感染症・警報・緊急時の対応について職員間での確認を行っています。	はい:13 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:2	緊急時の対応等は契約時に文書での配布、また、個別支援計画にも記載しているので、継続して周知していきます。 また、ホームページにも同様の文書を掲示し、保護者が随時確認できるようにします。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	1-2ヶ月に1度を目安に訓練等を行っています。	はい:4 どちらともいえない:2 いいえ:0 わからない:8 回答なし:1	実施頻度を現行の頻度で行います。 定期的な避難訓練の実施を行うように計画を立てて実施を行います。Facebook等でも発信していきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機種の確保等の適切な対応	虐待についての職員研修を合計4時間以上実施しています。今までの支援内容に問題が無かったかについて振り返り、認識を深める取り組みを行っています。		今後も研修を行い、職員の資質向上に努めていきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	当施設では身体拘束は行っていません。 該当児童なし。		該当児童がいる場合には規定に沿った手順の順守や契約時の説明・確認を行っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師の指示・注意事項・を保護者から確認を行い、食事により該当食物の提供事故がないよう細心の注意を払っている。 その旨を職員間でも注意喚起を行っている。		今後も該当児童には保護者から医師の指示の確認や情報共有を行い、児童への食事の誤提供がないよう注意を払う。
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例があれば記入をするように職員間に周知徹底を行っている。		事例があればヒヤリハットの記入を行い、些細なヒヤリから大きな事故の防止に努めるよう全職員へ継続して周知徹底を行っていく。